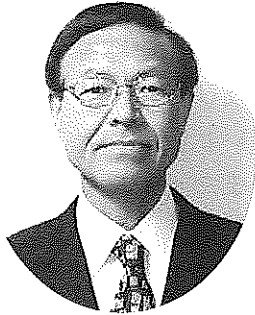


■ 寄 稿 ■

『協会の協力 不可欠』



埼玉県都市整備部設備課
課長 藤井 信夫

埼玉県設備設計事務所協会におかれましては、日頃埼玉県の設備行政の推進に御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、貴協会の会員の皆様方には、より良い設備設計のために多くの技術の研さんに日々努められていることに、あらためて敬意を表します。

さて、埼玉県では県が目指す将来像「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」(埼玉県5か年計画)を定め、そのプランのなかで「誰もが安心して暮らせる埼玉」「住みやすく環境にやさしい埼玉」を掲げています。

その中で、「環境を守り持続可能な社会をつくる」ことを基本目標の一つとし、「地球温暖化対策の推進」を積極的に進めています。

設備課においても喫緊の大きな課題である地球温暖化防止のため、快晴日数全国一の地域性を活かした太陽光発電、太陽熱や地中熱などの自然エネルギーの利用拡大、LED型照明器具や高効率空調機等の省エネルギー機器の導入促進を図っています。

さらに、昨今の厳しい財政状況のなかで、建設コスト削減はもちろんのこと、維持管理が容易で、ランニングコストのかからない施設づくりも心がけています。

そのために、今後も既存施設の有効利用や長期的な維持保全費用の削減を考慮し、施設整備を進めてまいります。

しかし、これらの施策を推進するためには、設備課の力だけでは不十分で貴協会の協力が不可欠ですので、今後もより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

昨年は埼玉県設備設計事務所協会が一般社団法人として新たな一步を踏み出す記念すべき年と伺いました。これを機に埼玉県設備設計事務所協会のさらなる発展と会員の皆様のますますのご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。